

## 再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課  
担当課長名：荒川 辰雄

事業名 高規格ICアクセス 都市計画道路 千穂王子ヶ浜線 (徐福2丁目～丸山)	事業 区分	街路	事業 主体	新宮市
起終点 自：和歌山県新宮市徐福2丁目 至：和歌山県新宮市丸山			延長	0.5 km
<b>事業概要</b> 都市計画道路千穂王子ヶ浜線は、新宮市の東西を連絡する道路であり、災害発生時の救助・救急・消火活動及び避難者への物資輸送の円滑化を図る上で重要な区間である。また、国道42号と近畿自動車道紀勢線新宮紀宝道路（仮称）新宮北IC間のアクセス性の向上や、新宮駅周辺市街地の交通が円滑化するとともに、周辺道路の渋滞緩和及び歩道の整備による歩行者等の安全性の確保を目的とし、新宮市徐福2丁目～新宮市丸山までの延長約0.5 kmを整備するものである。				
R2年度事業化		R1年度都市計画決定		R3年度用地着手
R4年度工事着手				
全体事業費	約20億円	事業進捗率	約1%	供用済延長
— km				
計画交通量	1,700～4,300台/日			
費用対効果	B/C	総費用	総便益	基準年
	(事業全体) 1.3	(残事業)/(事業全体) 15/16億円	(残事業)/(事業全体) 21/21億円	
	(残事業) 1.4	事業費：15/16億円 維持管理費：0.11/0.11億円	走行時間短縮便益：18/18億円 走行経費減少便益：2.1/2.1億円 交通事故減少便益：0.39/0.39億円	令和3年
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.2～1.4 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.2～1.5 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.2～1.4 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.2～1.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.2～1.4 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.3～1.4 (事業期間±20%)				
<b>事業の効果等</b> ・新宮市の東西軸が形成され、国道42号と近畿自動車道紀勢線新宮紀宝道路（仮称）新宮北ICへのアクセス性が向上し、新宮駅周辺市街地の交通円滑化に寄与する。 ・周辺道路の渋滞解消が図られるとともに、歩行者の安全性が向上する。また、災害時には救助および物資輸送に必要な防災上重要な役割が期待される。				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。				
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を妥当と認める。				
<b>事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等</b> 近畿自動車道紀勢線新宮紀宝道路が令和6年秋に供用予定。				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率0%、事業進捗率約1%				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地補償及び工事の推進を図り、早期供用を目指す。				
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生材の利用及びプレキャスト製品の使用等により、コスト縮減に努めていく。				
対応方針	事業継続			
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。			

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。